

令和 4 年 4 月 5 日

報道機関 各位

富山県で危惧される特定外来生物アライグマの増加

～初の全県調査で明らかになった現状と課題～

■ 概要

初の富山県全域における現地調査の結果、特定外来生物アライグマの生息状況が明らかになった。富山県生物学会の会誌「とやまの生物」（2022年3月31日発行）で発表した。

富山大学理学部の山崎裕治准教授の研究グループは、2019年3月から12月まで、富山県内の全域において、神社仏閣の柱などに残されたアライグマの爪痕を調査した。その結果、爪痕は富山県内の広い範囲で確認され、特に東西県境で多かった。また、地理情報システムを用いてアライグマの出現確率を調べた結果、生息域は今後さらに広がることが予測された。

アライグマは、環境省によって特定外来生物に指定されており、人間生活への悪影響が危惧されている。近年、日本各地で増えており、近隣県においても生息地の拡大が指摘されてきた。しかし、富山県においては断片的な情報の収集しかされておらず、富山県内全域における調査による生息状況の解明は、本研究が初めてである。

アライグマの出現確率は、爪痕の確認地点の情報と県内全域の環境情報から、地理情報システムを用いて推定された。その結果、富山県西部の広い範囲、また富山県東部の中山間地域における出現確率が高いことが予測され、この結果は実際の爪痕確認地点と概ね一致した。その一方、爪痕未確認地点においても高い出現確率が示される場所があった。このような場所では、今後アライグマが出現する可能性がある。そのため富山県内において、今後さらにアライグマが増加する可能性が高いため、早急に被害防除対策を講じる必要がある。その際、今回の研究成果および使用した分析手法の活用が期待される。また今年度、富山大学生の有志も含めた調査チームを編成し、富山県内における調査を継続する予定である。

つきましては、取材・報道方どうぞよろしくお願いいたします。取材に際しましては、マスクの着用等、感染症対策をお願いいたします。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学学術研究部理学系 准教授 山崎 裕治

TEL : 076-445-6642(直通) Email : yatsume@sci.u-toyama.ac.jp